

早稲田大学 人間科学部 国語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分(現代文1問、古文1問、漢文1問)
難易度	昨年比、やや易化

〔大問別講評〕

(一) 評論文。「進化論の現在」について。

出典:A:吉川浩満の文章による。

B:中尾央の文章による。

《本文字数:A・B 合計約 6500 字＝昨年より約 1300 字増加。設問数:13＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問一	やや易	【傍線部理解】「後ろ盾」(＝かげから助ける)、「お墨付き」(＝保証)の意味がわかれば容易だろう。前段落にある。
問二	やや易	【傍線部説明】「相対的」(＝絶対的ではなく、他との比較において成り立つさま)という基本語がわかれば容易に判断できる。
問三	やや易	【空欄補充】前二段落の内容から容易に判断できる。設問の「対比的な語句」も大きなヒントである。
問四	標準	【傍線部理解】ニューソートと進化論との関わりを、同段落と前二段落から捉える。ロは「科学の一員になりえた」が不適切。「自らを科学的と自称した(同段落末文)のである。
問五	やや難	【空欄補充】筆者が進化論をどのように捉えているか。第五段落に書かれている。文章全体を見渡さなければならない。
問六	やや難	【内容合致】ホは第十段落の内容に合致する。イかニか迷うが、イの「機械論的」は12行目の「唯物論的」の言い換えとも考えられ、ニは「都合よく改変を施した進化論」という表現のほうが不適切と考えられるが、大変紛らわしい。
問七	やや易	【傍線部説明】同段落と前二段落の内容から容易に判断できる。
問八	やや易	【空欄補充】前段落の内容を参照し、考古遺物の類似性の高まりの事例にあてはめて、適切なフィードバックのループ(＝円環)を選ぶ。
問九	やや易	【傍線部説明】8行目から直前までの内容から容易に判断できる。
問十	やや難	【空欄補充】同段落と前段落の引用部から、「生物体が環境に働きかけている」ことをつかむ。何を作り替えているかでニが紛らわしいが、「生物体を作り替えている」とまでは読み取れない。
問十一	標準	【理由説明】同段落の第一文にある。他の選択肢が紛らわしくなく、消去法も有効だろう。
問十二	標準	【記述－文章のテーマ】使うべき四語がヒントになる。最後から二段落目の表現を利用してまとめるとよい。
問十三	標準	【内容理解】ロ・ニ・ホの消去は容易だろう。イは「進化論の目的論的な捉え方によって文化を分析し」が不適切である。

〔大問別講評〕

(二) 古文。出典：鴨長明『無名抄』。

《本文字数：約 550 字＝昨年より約 450 字減少。設問数：7＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問十四	標準	【和歌の解釈】注の「出家した折りに詠んだ歌」もヒントになる。
問十五	やや易	【傍線部理解】ここが俊恵から長明への発言だと分かれば容易だろう。
問十六	易	【空欄補充】枕詞。空欄bの直後の「あしびき」から選択肢をしぼる。
問十七	標準	【文脈把握】傍線部と同じ半臂の句の説明が次行から続く。
問十八	やや難	【空欄補充】2～3行目の長明の発言を俊恵がどう評価しているかをふまえて考える。 「空欄cがないと『ぬばたまの』も効果がない」と述べている。
問十九	やや易	【傍線部理解】重要古語「詮なし」に着目する。
問二十	標準	【内容合致】ハは5～6行目、ホは7～8行目に合致する。

(三) 漢文。出典：呉兢『貞観政要』。

《本文字数：137 字＝昨年より 69 字減少。設問数：4＝昨年より 2 問減少。》

小問	難易度	コメント
問二十一	やや易	【読み下し文】再読文字「将」に着目して選択肢をしぼる。
問二十二	標準	【空欄補充】空欄までの内容から判断できる。「その罪は死罪にまではあたらない」という文脈である
問二十三	やや易	【傍線部理解】「遣」から傍線部が使役形であることを見抜けば容易だろう。
問二十四	標準	【内容合致】イは1～2行目、へは本文末2行、にそれぞれ合致する。

〔総合コメント・今後の指針〕

全体の難易度は、昨年よりやや易化した。現代文では 30～35 字で書く記述問題が出題された。古文と漢文は易しいのでしっかり得点しておきたい。全体の分量が多いので、時間に追われた受験生が多かっただろう。

大問一は、「進化論の現在」についての評論文が二つ出題された。長文化したが、難易度は昨年並み。複数テキストの形式、問十三にみられる学生の報告文という設定、といった共通テストを意識していると思われる出題であった。

大問二は、『無名抄』。昨年より易化した。基本・標準レベルの設問は得点しておきたい。

大問三は、『貞観政要』。昨年並みの難易度である。設問数は2問減少して従来の4問に戻った。基本・標準レベルの設問ばかりなので高得点をとっておきたい。